

令和2年度和光市国際化推進懇話会提言書

多様な生活スタイルをもった外国人に、情報を等しくかつ的確に提供することは極めて重要である。また、当面は新型コロナウイルス感染症への対策・対応だけでなく、東京オリンピック・パラリンピック開催の可能性もある。

外国籍市民に対する情報伝達システムを整備し、防災や生活に関する必要な情報を提供する他、国際理解を推進するなど外国籍市民も安心して暮らせる環境をつくる和光市の国際化推進の施策について、以下のとおり提言する。

記

- 1 外国人にも利用しやすい SNS などデジタルアプリケーションを使った和光市の情報ネットワークを拡充してほしい。
- 2 外国人を対応ができる医療機関の誘致もしくは英語が話せる医師にクリニックを開設してほしい。
- 3 外国人が仲間内だけで孤立しないような、住みやすく、日本のコミュニティに溶け込みやすい住環境を充実させてほしい。
- 4 アンケート調査を実施し、実際に住んでいる外国人の声を聞いてほしい。
その際、年齢や滞在期間、一般市民と企業に勤める市民等に分けて調査を行い分析を行ってほしい。
- 5 市民生活が国内外でオンラインで繋がる仕組みの拡充を図り、和光市在住の外国人が母国の家族や友人と適宜繋がる場・仕組みの提供をしてほしい。
- 6 語学教育を超えた、より多文化理解をするための教育としての、国際理解教育を意識し進めてほしい。
- 7 和光市民まつり、自治会等のイベントを活用した外国籍市民による母国文化の紹介等の交流機会の場を設けてほしい。
- 8 誰でも簡単に海外とも繋がれるインフラ整備（公共施設での Wi-Fi など）とサービス提供をお願いします。
- 9 海外の交流先の優れたやり方を学び、新型コロナウイルス感染症終息後の取り組みや公共業務関連のデジタル化などについて意見交換を継続してほしい。